

《令和6年度 児童発達支援事業 事業経過報告》

1. 発達支援について

親子療育からの利用開始は継続し、活動や親子療育後の面談を通じて利用児の現状や支援内容を保護者と共有している。実際に親子で一緒に活動しながら、様子を伝え、保護者からの振り返りを行うことで、利用児の良いところ、課題となりうる様子や状況を共有している。単独療育に移行されたクラスでも、親子療育日を設定し、当日の様子を見ていただき、日頃の療育の取り組みを具体的に伝えている。

療育の様子についても、職員が保護者へ対面で様子を報告することの必要性を伝え、保護者による送迎等、直接伝えられる機会を増やしている。対面のやり取りが出来ない場合でも、写真を添えた連絡ノートや電話連絡による報告、相談時の同席などを通して、利用の様子や、支援内容を保護者と共有している。保護者からは、当事者同士で気軽に話をする場が欲しいという声があり、横とのつながりをサポートする目的で、初めてサロン活動を実施した。

2. 関係機関との連携について

市の相談事業や医療機関受診の同席をはじめ、個々に関係機関とは連携をしている。

上半期には全ての並行通園先に出向き、利用児の様子を参観し、各園所との情報交換の場を持った。継続して行うことで、各園所の先生と関係性も広がり、参観以外での電話による連携、連絡ノート、個別支援計画の共有など、利用児について情報共有の場が増えている。変化していく子どもの状況に応じて柔軟に対応できるよう、こまめな情報交換を行いながら、連携強化を図っている。五者面談においてもあらかじめ並行通園先と面談の目的を共有する機会を持ち、保護者が就学後の様子等をイメージしやすいように活動の設定等の協力を得ている。

就学に向けては、情報発信会として就学先の選択に関わる情報や、児童が利用する可能性のある保護者の就労支援、障がい児福祉サービスについて、社会教育課・社会福祉課の協力のもと、利用目的や必要な手続き、事業所の紹介等の情報発信を行った。就学後の過ごしをテーマ

にした情報発信会においては、利用目的や必要な手続きだけではなく、計画相談員の外部講師をお招きし、福祉サービスを利用の有無に関わらず、就学後どのような視点で子どもの過ごしを考えていけば良いのかを保護者に考えてもらう機会を作った。

今年度も、就学後に途切れることなく支援ができる体制を整えておくため、社会福祉課をはじめ、移行後の各種支援機関との連携を図っている。

3. 事業所運営について

職員育成に関しては、定期的な内部研修を行い、学びの場の確保に努めている。事例検討や発達支援センターによる専門研修、制度上義務付けられている研修に加え、療育の一場面での環境や関わり、子どもの経験がその後、どのような効果をもたらすのかを考える機会を持ち、職員自身の療育過程の展開につながるような考え方を定着するために試行しているところである。南丹保健所主催のはぐくみ事業における事例検討や各療育教室の見学においては、各教室の特色や利用状況等を知ることができ、また自事業所における日々の取り組みについても、改めて整理する機会にもなっている。

また、要対協対象児の利用も多く、各家庭の状況に応じた利用の調整、こまめな連絡など柔軟な対応を行っている。他にも就学した卒園児に関わる相談もあり、療育場面だけでなく、より多角的な視点でサポートできる職員の育成をしていく必要性も感じている。

4. 地域に根差した事業所づくり

園だよりを各家庭、関係機関、川辺地域に配布し、つくし園での活動について周知するべく広報している。また、療育における散歩や外出活動を通して、住民交流を図る機会を持ち、子どもたちが社会的ルールや立ち振る舞いについて学ぶ良い機会となっている。今年度はBCPの取り組みの一環として、川辺地区防災を考える会にも参加し、平時からの取り組みや協力体制について一緒に考える機会を持った。このような機会を大切にしていきたい。

通所の状況・活動の状況等

(1) 通所状況（今年度の数値は 令和6年12月末現在）

年度	登録児数	利用実人数	延べ利用数	1日平均
前年度	67人	67人	2,049人	8.9人
今年度	58人	55人	1,508人	8.5人

(2) 主な活動状況

開催日	内 容	場 所
5月15日 5月22日 5月28日 5月30日 6月 5日 6月 6日 6月10日 6月12日 8月29日 6月18日 6月27日	並行通園先訪問連携 ・ 八木中央幼児学園 ・ 園部幼稚園 ・ 園部保育所 ・ 城南保育所 ・ みやまこども園 ・ 八木東幼児学園 ・ 胡麻保育所 ・ 南丹のぞみ園 ・ 聖家族幼稚園 ・ ひよしこども園	各並行通園先
6月24日～ 7月 5日 (水曜日除く8日間)	親子療育・参観	つくし園 ぶどうルーム
6月 4日	第1回情報発信事業 ぶどうの木 菅生先生との懇談会 ・ 保護者15名参加	旧川辺小学校 ランチルーム
7月 9日	第2回情報発信事業 つくし園保護者OBとの懇談会 ・ OB3名 保護者16名参加	旧川辺小学校 ランチルーム
9月 4日	保護者サロンぽっかぽか ・ 保護者4名参加	つくし園 療育室3
10月30日	第3回情報発信事業 放課後の過ごし方 協力機関 南丹市社会福祉課 南丹市社会教育課 京都太陽の園 山崎相談員 ・ 保護者14名参加	旧川辺小学校 ランチルーム
11月 11日～15日 (水曜日除く4日間)	年長児外出活動（往復） 船岡駅発（電車）↔ 園部駅 ↔ 亀岡駅	亀岡駅前 かめきたサンガ広場 サンガスタジアム

(4) 会議の状況

開催日	内 容	場 所
4月 1日 4月25日 6月13日 6月22日 7月25日 8月29日 10月 9日 11月 6日 12月 4日	職員会議 ・行事の確認・体制等の確認 ・各関係機関との連携報告 ・利用児に関する職員間の情報共有	つくし園 職員室
利用希望者に応じて連携	療育連携会議（社会福祉課・保健医療課・つくし園）	子育て発達支援センター
5月23日	南丹市子育て発達支援センター 運営委員会	市役所4号庁舎
8月15日	後期療育連携会議 （社会福祉課・保健医療課・つくし園）	子育て発達支援センター
9月12日	就学後の支援についての連携会議 （社会福祉課・つくし園）	子育て発達支援センター

(5) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
4月18日 5月 2日 5月16日 6月13日 7月18日 8月 1日 8月29日 11月20日	職員内部研修 ・制度理解、BCP研修、安全計画、虐待防止、感染症対策、事例検討、思考の標準化等	延べ45名
5月21日 7月19日 9月20日 10月16日 10月29日 11月13日 12月 3日	はぐくみ事業（南丹保健所主催） ・事例検討、施設見学、見学受け入れ等	7名
10月16日 12月12日	救命救急講習会 南丹市作業療法士による勉強会	5名 4名
4月 4日 4月25日 5月 9日 5月23日 6月 6日 6月20日 7月 4日 7月25日 8月 8日 9月12日 9月26日 10月10日 10月24日 11月 7日 11月21日 12月 5日 12月19日	実践研修（こぐまっこ）	1人
6月26日 11月 1日 11月18日 12月10日	法人内内部研修 ・コミュニティコーピング、事業所紹介、ハラスメント、虐待防止等	延べ8名
8月18日	子育て公開講座	4名
6月 2日 12月 1日	教育と保育のための発達診断セミナー（ZOOM）	8名
10月 1日 10月 2日	京都府サービス管理責任者等実践研修	1名
11月 6日	京都府障害福祉従事者専門研修（児童分野）	1名
11月16日	花ノ木医療福祉センター 地域学習会	2名